

その他の一般動力機械を起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	4	9 ～ 10	高さ5mの集塵機の上に乗って天井を清掃作業中に、床面に墜落した。	150101	50 ～ 99
1999	5	11 ～ 12	トラクターを用いて耕作作業を行っていたところ、畑の端から約5メートル下の道路上にトラクターと共に転落した。	80109	30 ～ 49
2000	10	13 ～ 14	堤防の除草作業において、前日までに刈り取った草を犬走り上で草積み機械（ドラグショベルに専用のアタッチメントを取付けたもの）で2tトラックに積込み、法面(勾配約32度)を登坂走行中に転落し、草積み機械の下敷きになった。	30107	10 ～ 29
2000	1	11 ～ 12	古紙等を圧縮・梱包する機械のコンベアにダンボール古紙を投入する作業中に機械のホッパにダンボールが詰まったため、センサーにより一時停止したコンベア上を歩いて昇り上部投入口からダンボールを取り除こうとしたときにバランスを崩してホッパ内に段ボールとともに転落し、詰まりが解消したことをセンサーが検知して圧縮用ピストンも作動し始めたため古紙とともに押し潰された。	80101	1 ～ 9
2001	1	8 ～ 9	ゴルフ場のコースの雪が早く溶けるようトラクターに乗り圧雪作業中に、スリップしたか曲がりきれなかったために機械とともに崖から約10m転落した。	140301	10 ～ 29
		10	採取した土石を分別するプラントのホッパー内に入り凍りついて固まりに		10

2001	2	～	なつた土石を小割していて、ホッパー内に付着していた土石とともにホッ	20202	～
		11	パーの排出口まで滑り落ち、胸元まで埋もれた。		29
2001	7	～	堤防の草を自走式草刈機で行っていたときに、高さ1mの段差(ブロック積み)	30107	10
		12	に気付かず自走式草刈機と共に転落し、機械の下敷きになった。		～
					29
2001	11	～	煉炭を製造するフレット機(磨り潰し機)上部の原料投入口のホッパー内側に付	10804	10
		15	着した石炭粒原料をかき取るためフレット機のローラー上で作業を行ってい		～
			て、ローラー上部から1.7m下の加工皿まで墜落した。		29
2002	8	～	ゴルフコース横の法面(約40度)の芝を乗用の芝刈機で刈っていたときに、	140301	100
		12	芝刈機とともに転落し芝刈機の下敷きになった。		～
					299
2002	9	～	ゴルフ場造成工事において、乗用式芝刈り機(四輪駆動で燃料は軽油)で	30199	10
		0	コース内の芝刈り作業を行っていたところ、燃料切れでエンジンが停止した		～
		1	ので下り勾配となっているカート用通路を惰性で走行していて、ハンドル操		29
			作を誤り路外へ逸脱して芝刈り機から投げ出され芝刈り機の下敷きになっ		
			た。		
2003	12	～	ゴム製品をペレット状に加工する機械の清掃作業中に、足を滑らせ昇降用ス	10806	10
		19	テップからコンクリート床に墜落した。		～
					29
2004	8	～	作業ローテーションで別の作業場所に移動するため正規の通路を通らず休止	170209	50
		15	中の機械の上を通っていた際に幅約90cmのすき間から約3m下のコンクリー		～
		16	ト床面に墜落した。		99
2004	7	～	フィルタープレスの解体作業において、ダンパー上でフランジ取り外し作業	30302	1～
		10	を行っていたところ、被災者の体重でダンパーが開き、約8m下の1階床に墜		9
		11	落した。		
2004	10	～	ゴルフの練習用グリーン上で、バーチドレンと呼ばれる機械を運転し、土の	140301	50
		9	中を乾燥させるためにグリーン表面へ穴(径約1cm)を開ける土壌改良作業		～

		10	を単独で行っていたところ、同機械が転倒、グリーン法面（のりめん）下方で当該機械の下敷きになった。		99
2004	6	13 ～ 14	枝刈機械（乗用型中刈機）で茶畑の枝刈り作業を行っていたところ、当該茶畑の農道脇から谷に機械と共に転落した。	170209	1～ 9
2005	3	8 ～ 9	農業用トラクターのバケットに厩舎で使用済みの敷藁を載せ、堆積場まで運搬していたところ、河川敷の路肩から90cm下の平地に農業用トラクターごと転落し、農業用トラクターの下敷きとなった。	70101	1～ 9
2005	11	14 ～ 15	スクラップの解体作業中、地面に墜落した。	150102	1～ 9
2005	7	8 ～ 9	国道の歩道において自走式刈払機を運転していたところ、法面に刈払機が下りてしまったため、平坦な歩道面に刈払機を戻そうとしたが、刈払機ごと横転した。	30106	1～ 9
2005	12	8 ～ 9	工場内において、製造装置の清掃作業を行っていたところ、コンクリート床面に墜落した。	11709	10 ～ 29
2006	2	20 ～ 21	工場内に設置されている合板の表面全面にパテを塗布する自動機上部において、バルブの蒸気漏れ修理のためフランジのパッキン交換作業中に、高さ4.29m下のコンクリート土間に墜落した。	10402	100 ～ 299
2006	1	16 ～ 17	高さ約3m、長さ11m、幅3mのクローラー付きの移動式木くず破碎機に上り、凍結防止用の養生シートをかける作業を行っていたところ、高さ約1.5mの位置にあるホッパーの上から圧雪地面に墜落した。	11709	30 ～ 49
2007	6	7 ～ 8	被災者は、小型の乗用草刈機に乗り、駐車場の草刈り作業をしていたところ、駐車場の端から約2.4m下の調整池（法面勾配約60度）に墜落した。	140309	1～ 9
		11	コークスガイド車の集じん装置を改良するため、被災者ほか3名で同装置の		10

2007	1	～ 12	吸気ファンを当該ガイド車の最上部（高さ約9m）の手すりに囲われた箇所に移設する作業をしていたが、作業場所付近の手すりのない箇所から被災者が墜落した。	30302	～ 29
2008	9	15 ～ 16	当該事業場は農業を営んでおり、馬鈴薯の収穫作業は、農業用トラクターによりポテトハーベスターと呼ばれる収穫機を牽引して行われている。被災者の他に3名の作業者が収穫機についている作業台で収穫物と石等の分別作業に従事していたところ、高さ1.25mの作業台より被災者が墜落して死亡した。	60101	1～ 9
2008	6	9 ～ 10	被災者は朝から開始したお茶摘み作業の途中、茶畑の近くで休憩をするために別の者が運転するお茶摘み機械（下部にクローラ式の移動装置が付いている）に同乗し移動した。お茶摘み機械の移動を停止した直後、被災者が機械の傍で仰向けの状態で倒れていたのを発見された。	60101	1～ 9
2009	3	7 ～ 8	ゴルフ場内のティーグラウンドの芝生の成育管理のため、「エアレーション」（芝生地面に穴を空ける作業）と呼ばれる作業を「乗用グリーンスエア」（3輪の自走式の機械）と呼ばれる機械を使用し行っていたところ、ティーグラウンド端部から当該機械とともに被災者は法面を転落し、機械の下敷きになった。	140301	50 ～ 99
2009	11	8 ～ 9	古紙などを圧縮・梱包する大型機械において、古紙などを運搬・投入する上りコンベヤーの頂上地点で機械に貼り付いた古紙を払い落す作業中、高さ約6mの作業位置から圧縮・梱包機内に転落し攪拌機に巻き込まれた。	80109	1～ 9
2009	9	13 ～ 14	被災者は一人で芝刈り機を用いてティーグラウンドの芝刈りを行っており、被災者は横転した芝刈り機のタイヤとティーグラウンド側溝との間にはさまれた。芝刈りを終えたティーグラウンドから次のティーグラウンドに移動中、運行通路の路肩から斜面約4m40cm（勾配38度）を芝刈り機とともに転落した。	140301	50 ～ 99
2009	5	16 ～ 17	本社工場において、古紙梱包機を用いて段ボールの圧縮作業をしていたところ、クーリングタワーの下部にある段ボールの下敷きになった。被災者は、クーリングタワー内部に引っ掛かった段ボールの確認作業をしていた。	150103	10 ～ 29
		10	被災者は一人で乗用形4輪芝刈り機を使用して敷地内緑地の草刈り作業を09：00過ぎから行っていた。10：00から10：40まで事業場の食堂		

2011	8	～	11	で休憩した後、草刈り作業を再開したが、昼食時間になっても食堂に現れなかったため、不審に思った同僚3名が探したところ、敷地の土手から3.4m下の農道に転落した当該芝刈り機の下敷きになった被災者を発見した。	10105	1～ 9
2011	8	～	15 16	堤防付近において、草刈機を使用して草刈作業を行っていたところ、3.4m下の空き地に転落し、草刈機の下敷きになり死亡したもの。	30107	1～ 9
2011	10	～	11 12	ゴルフ場のグリーンの整備を行う作業用機械（バロネス管理機（重量820kg））を運転していたと思われる被災者が、ゴルフ場の作業用機械駐車場の奥にある法面（高さ3.2m）の下で、同機械の下敷きになっているのが発見されたもの。	140301	30 ～ 49
2012	10	～	11 12	被災者は圧縮機を用いて産業廃棄物（廃プラスチック）を圧縮する作業に従事していた。高さ約3mのホッパー付近に詰まった廃棄物を取り除こうとしたところ、誤って圧縮機内のプレス部分に転落し、廃棄物とともにはさまれた。消防に通報し救出されたが、その場で死亡が確認された。	150102	1～ 9
2012	8	～	6 7	被災者は大型洗濯機の投入口へ墜落し、洗濯物を脱水処理する油圧プレスで洗濯物のシートとともにはさまれた。	11703	300 ～
2012	7	～	14 15	被災者は他の労働者5名とともに、コンバインにおける小麦の刈り取り性能調査を行うため、小麦畑において小麦の刈り取り作業を行っていた。被災者が、畑のへりにおいて方向転換のため後進したところ、へりの先の窪地（土手下）に機械とともに転落し、当該機械の下敷きになった。	11301	300 ～
2014	8	～	9 10	ビニール等の破碎機の刃を交換した際、コンクリート床面から2.07mの高さにある破碎機の作業台上で、刃の取付けボルトをレンチを使い外していたところ、作業台から転落した。	11709	1～ 9
2014	8	～	12 13	果樹園内の草刈り作業中、草刈機が横転しているのが発見され、その下にうつぶせで下敷きになっている被災者が発見された。	130201	1～ 9

2014	7	15 ～ 16	被災者は、コンテナ反転機の専用足場に上がり作業後、昇降設備を使用せず、反転機の下方を囲む金属板に沿って降りていたところ、金属板上面の縁で足元が滑り、床面に墜落。近接するコンベアの金属板に胸部を強打した。	10109	～ 299
2014	7	11 ～ 12	ゴルフ場のコースバンカー法面の法肩沿いにて、芝刈機でラフ刈り作業を行っていたところ、車輪が浮き、車体が大きく傾き、被災者が車外に投げ出され、芝刈機が転落し、被災者の頭部に激突した。	140301	～ 29
2014	7	9 ～ 10	乗用芝刈機でゴルフ場の法肩の草刈り中、高さ3.66mの擁壁から乗用芝刈機ごと墜落した。	140301	～ 29
2014	6	16 ～ 17	農業用牧草ロール機を格納場所へ移動させた際、道路から斜面に降りようと機体を後進させ、法面に垂直に進出したところ、機体が転倒し、約3メートル下のコンクリート敷面まで転落し、機体の下敷きになり、死亡した。	30199	1～ 9
2014	4	11 ～ 12	農業用トラクターで畑を耕していた際、畑の端で転回させよう後進したところ、約1.5メートルの土手下に農業用トラクターごと転落し、その下敷きとなり、死亡した。	10103	1～ 9
2014	3	16 ～ 17	農用トラクターを運転し、桑畑を耕していた際、畑の端にある溝付近で、トラクターを後退させたところ、後輪が滑り、トラクターが溝の方へ傾き、被災者が運転席から溝へ197cm転落。転落してきたトラクターの下敷きになった。	10109	1～ 9
2015	5	12 ～ 13	被災者は栽培中であるサトウキビ畑の畝の間を耕すため農業用小型トラクターに乗車して移動していたが、約1.4メートル低くなっている隣地との境界付近に同トラクターが横転し下敷きになった。	60101	1～ 9
2015	4	20 ～ 21	20時10分頃、機械が稼働していたが、工場建屋内に作業員がいないことを不審に思った労働者が、バーカーの回転刃と壁面との間に被災者が巻き込まれているのを発見したもの。被災者は単独作業中であり、バーカー内に材木を送り出す搬入デッキの清掃中あるいはバーカーの稼働状況目視確認時に、バーカー内へ墜落したものと推定される。搬入デッキは停止していたが、バーカーは運転中であった。	10401	1～ 9

2016	8	9 ～ 10	乗用芝刈機を運転しながら、斜度30度の土手の芝を刈っていたところ、運転操作を誤り、約1.5m下の段（幅約1.7m）に芝刈機ごと転落し、その後、約1m下のカート路にもう一度転落した。被災者は、カート路に転落した芝刈機（車体重量840kg）の下敷きとなり、死亡した。	140301	30 ～ 49
2017	1	16 ～ 17	被災者がトラクターを運転して作業場所へ向かう際、T字路を曲がりきれず、路肩から約0.6メートルの高低差がある田に落ちて、約14メートル走行し、高低差1.3メートルの畔道に衝突して停止した。運転席から落下した被災者が当該トラクターの牽引する麦踏機のローラーの下敷きとなったところを発見された。	60101	1～ 9
2018	11	12 ～ 13	被災者はトラクターを使用して田起こしの作業を行っていた。作業を終えた田の中から土手の上の農道へスロープ状の通路をトラクターで上り出ようとしたところ、左折途中でトラクターが脱輪し、トラクターごと土手から横転しながら滑落した。その際、地面にうつぶせに倒れこんだ被災者の上半身にトラクターが落下し、地面とトラクターのタイヤの間に挟まれたもの。	60101	1～ 9
2018	11	8 ～ 9	観光農園の店頭で販売するブドウの在庫が減ったため、作業床が昇降する車両系の機械で、店先の駐車場上の高さ約4.3mのブドウ棚で栽培しているブドウを摘み取る作業をしていたところ、当該作業床から墜落したもの。	140309	10 ～ 29
2018	8	10 ～ 11	トッパーと呼ばれる農業用機械で、緩い右カーブの堤防上を移動をしていた際に、路外に転落、横転し、運転手が機械の下敷きになったもの。	10103	100 ～ 299
2018	7	12 ～ 13	川の左岸、護岸ブロック上の草刈りを行うため、乗用の草刈り機（小型特殊自動車）に乗り、傾斜のある護岸ブロックを自走で登ろうとしたところ、車体とともに転落し、車体と地面の間に頭部をはさまれ死亡したもの。	60101	1～ 9
2018	7	10 ～ 11	野菜畑での収穫作業において、被災者が農業用トラクターを運転して、収穫した野菜を入れるためのコンテナを取りに行くために後進していたところ、畑脇の斜面を約2.5メートル転落し、当該トラクターの下敷きとなった。なお、当該トラクターの運転席はキャビン仕様（運転室）となっており、転	60101	1～ 9

			落前に運転室から外に出たため下敷きとなったものであるが、外に出た理由は不明である。		
2019	4	12 ～ 14	古紙の圧迫梱包機械（ベラー機）で作業中、ベラー機への投入口にベルトコンベアから送られた段ボールが詰まったため、除去等しようとした際に投入口に転落し、プレス機部分まで落下、プレス機が作動して腰部分で上半身と下半身が切断されたものと推察される。	80209	10 ～ 29
2020	9	10 ～ 12	乗用草刈機を用いてスキー場のゲレンデの草刈りを行っていたところ、乗用草刈機に左脚を巻き込まれ、左脚を膝下9 cmの部分で切断したもの。災害発生場所の傾斜は16度であった。	40101	30 ～ 49
2020	7	10 ～ 12	アタッチメント付トラクターに乗って、雑草を漉き込みながら農地の除草作業を行っていた被災者が、農地の南側高さ1.12mの法面から当該トラクターとともに転落したもの。	60101	1～ 9
2020	6	12 ～ 14	被災者はパッカー車で古紙を回収し、支所で古紙を下ろした後、再度、古紙を回収しながら本社に戻る予定であった。労働者が古紙の回収から支所に戻ってきた際に、被災者のパッカー車が古紙回収ベラーに横付けされているが、被災者の姿が見当たらなかったため付近を捜した結果、圧縮された古紙の中に被災者を発見したもの。	80109	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html